



第46号 発行所 鹿兒島市秘書課広報係 編集人 山下 速夫 発行人 南日本新聞社印刷局

鹿兒島市の人口 男一、九五九一 女一、三〇、三二〇 計二四九、九一一 世帯数六一、七五七 (分月一日現在)

鴨池動物園へドイツのハーゲンベックより、らくだが参りました。

好轉しつつある市財政 郷土愛に燃えた納税意欲のため

地方自治法第二百四十四條及び『財政事情』の作成及び公表に関する條令に基いて本市第十一回(昨年十月から本年三月までの分、但し特別会計水道及び電気軌道事業費については、昨年十月までの分)の『財政事情』を次のように公表します。

鹿兒島市長 勝目清

一、まえばき 軌道事業費は本年一月から地方公営企業法を適用することになったため昨年十二月末までの分、その他の財政状況を御知らせ致します。財政に對する御認識と御理解をお願い致します。

自昭和二十七年十月 至昭和二十八年三月 鹿兒島市財政事情

二、市財政の動向 昭和二十七年年度の当初から九月末までの経過については前回の公表の通りであります。本年三月末日における現計予算は十六億二千八百三十九万四千九百四十二円に比較して、二億四千八百四十四万一千四百円の減額となりました。

三、収入及び支出の概況 三月末(公営企業については十二月末)現在における会計別收支状況は附表(一)のとおりであり、会計別にその内容を説明いたします。

Table 1: 会計別收支状況 (附表1) 昭和28年3月31日現在. Columns: 会計別, 最終予算額, 収入総額, 支出総額, 備考.

Table 2: 市民の負担状況 (附表2) 昭和27年12月31日現在. Columns: 会計別, 12月未予算額, 収入済額, 支出済額, 備考.

Table 3: 市民の負担状況 (附表2) 昭和25年度, 昭和26年度, 昭和27年度, 昭和28年度. Columns: 区分, 決算額, 最終予算額, 当初予算額.

四、市民の負担状況 市民の皆さんが直接負担しておられる市税の自昭和二十五年至向二十八年度間における状況は附表の通りであります。

今期(前年度)の病院の未払額に對する処理として、七月のペースアップによる人件費の増及び公債償還に對する、一般会計よりの繰入金増額九百四十八万円の予算措置を行つて、一方現金繰上りのため、借入金金の増を拡大し、意欲の財政措置を講じたのであります。

一般会計からの一時借入金(内一時借入金一億一千五百五十万円)を支出したため、手持資金として、約三千万円程度の余裕を有するに至りました。本期に入つて、運賃増額としての起債二百五十万円が認められたので、さきに、二、料金の関係 都市計画による配水管の布設及び撤去に伴い、十二月末現在給水戸数三万四千五百五十戸(九月末二万三千八百二十五戸)となり七百二十五戸の増を見えています。

四、交通事業の概況 一、電気軌道事業 本期における電気軌道事業は前年に比較して、やや不況をみましました。しかしながら夜間急行列車の運転に伴い、山岳部、唐澤の最盛期時刻を午後十一時四十分として市民へのサービスを図りました。

市営住宅の申込!! 只今市においては、カーブス台風災害者住宅二〇〇戸を確保したてており、この完成は八月頃と予想されますので、二十六年十月十四日のルイス台風により、家屋が全壊、大破、半壊して未だに住宅に困つておられる方は、市発行の被害証明と米穀通票を持つて、福祉事務所住宅係まで御申込下さい。

五、公営事業 經理の概要 市立病院經理の概況 市民の皆さんが直接負担しておられる市税の自昭和二十五年至向二十八年度間における状況は附表の通りであります。

Table 4: 市立病院經理の概況. Columns: 区分, 年度, 増減.

三、水道事業の概況 一、收支関係 前期未収支額二百三十七万七千四百九十円、本期収入四千四百三十五万八千七百四十四円、本期支出四千四百三十五万八千七百四十四円、本期収入超過額一円。

五、下水処理関係 昭和二十六年年度から二年計画で着手いたしました下水道拡張工事は、東部地区は、水源池築造及び送水管工事昭和二十六年年度で完了し、本年十二月末までに第一配水池工事と配水管延長六千四百九十米中、四千五百五十九米(九月末二千七百七十四米)の布設を完了いたしました。

昭和三十八年度分 市民税第一期分は 六月三十日まで

保健所に栄養相談所が開設されました。どうぞ御利用下さい。

